

2019. 7. 1 山口新聞

「在宅みとりは 独居でも可能」

おひとりさまの最期
下関で上野さん講演

社会学者で東京大名誉教授、上野千鶴子さんの講演会「おひとりさまの最期」が下関市竹崎町の市民会館であり、約400人が聴いたII写真。高齢社会をよくする下関女性の会（田中隆子代表）主催。

上野さんは女性学、ジェンダー研究の第一人者で、近年は高齢者介護とケアの



分野で研究を深めている。1人暮らしの高齢者が増え続けるなか、「施設にいると安心だからと家族は言うが、誰にとって安心なのか」と問い掛け、これからの介護とみとりの在り方を実例を交えて話した。

「家にいたいというのは高齢者の悲願であり幸せ。在宅みとりは独居でもできる。資源はあり、人材もいる。ただし地域格差が大きい」と指摘。「一番大事なことはどんな介護を受けたいか高齢者自身が自己決定すること」といい、超高齢化社会を生きる道として「安心して要介護者になれる社会にするために手を携えて知恵とエネルギーを使おうべきだ」と話した。